

---

## 令和2年度 第9回重信川学識者会議 会議概要

日時：令和2年10月29日（木）10:00～  
場所：松山河川国道事務所 4階災害対策室  
※WEB会議併用

### ■議事概要

#### 1. 事務局からの情報提供

○事務局

- ・流域治水プロジェクトについて情報提供を行った。（資料-1）

#### 2. 重信川河川改修事業の事業再評価について

○事務局

- ・重信川河川改修事業の事業再評価について説明を行った。（資料-2）

○松井委員

- ・総便益について、今回再評価で668億円に減っている原因をもう少し説明をお願いしたい。

○事務局

- ・前回の平成29年評価では平成13年6月洪水の水位以上となった場合に破堤する条件で計算していた。平成29年9月洪水は平成13年6月洪水を上回る水位であったが、その水位でも破堤しなかった。そこで、今回は平成29年9月洪水の水位以上となった場合に破堤する条件としたため、前回と比較すると、氾濫域が減少する結果となっており、その分便益も減少している。

○鈴木議長

- ・今回は総便益が少なくなり、費用便益が以前は14.8と高かったが、3.5になっている。便益算定条件の変更があったという点が重要な点である。

○門田委員

- ・漏水対策で遮水矢板の説明があったが、洪水が起きた時に環境への影響は起こらないのか。
- ・矢板ではない他の対策はあるのか。

○事務局

- ・重信川の場合、地下水の量が非常に多く伏流水への影響があるので、矢板を打つと地下水や伏流水の流動を止めてしまう危険が非常に高く、矢板は採用しづらい。そのため、コストの件もあり、今回は堤内基盤排水工法を採用した。
- ・現状の鋼矢板は2m程度で、覆土も実施しているため、大きな環境の変化はないと思う。

○高橋委員

- ・総合的に治水対策を実施していこうという意見があった。例えば堤防が壊れないために霞堤から水を逃がすことをした。今はもともと遊水機能がある場所に大勢の方が住んでおり、水が出てきて困るという発想に変わってきている。それに対する対応をどうするかをお聞きしたい。
- ・重信川は河床が高くなっており、水田やため池が減ってきている。大水が出るのは瞬時だが、

---

水不足で悩むのは何カ月もある。上手に地域の人を巻き込みながら重信川を守るということが、生活用水の確保にも結び付いている。今後南海地震によって水が漏れ出したりなど様々な問題が起こらないか。一つ一つ対応する必要がある。

- ・重信川全体を考えて、水田が無くなる、生活排水がどう流されているか、雨水がどのように利用されているか、そういったことをぜひ検討願いたい。

○鈴木議長

- ・高橋委員のご意見ですが、霞堤のようなものを残しておく必要はないか、流域全体の保水力のようなものが変わっているのではないかという、2点について回答をお願いしたい。

○事務局

- ・霞堤は井門霞のように維持しているものもあり、全て締め切っていない。今後の気候変動も踏まえた中で、どういった形の改修を行うか、対処等の検討を進める。
- ・流域治水であらゆる対策の検討が必要で、気候変動も考慮すると流出の見直しも必要となり、そのことも含めた中で整理をして検討していくことになる。

○岡村委員

- ・地下水利用の観点から矢板が打てないため、堤防調査委員会では、仕方なく堤内基盤排水工法を採用したと思う。そのような事情なのでコスト縮減の1つ目の文章は表現を少し変えたほうがいいのではないか。
- ・堤体側の水抜き排水のドレーンにより、基盤を通る水の流速が速くなるため、当該工法については丁寧にモニタリングする必要がある。漏水量を測ることは大変なものと認識しながら、漏水量をモニタリングすることが委員会報告書に入っている。今回の事業評価の内訳書には、モニタリングも表に出して積極的に監視することが分かるようにした方が良くと思う。

○石川委員

- ・石手川は市街地とその近郊を流れる貴重な自然空間であり、永木橋から石手川ダムまで、国が所管して整備することになれば、健康増進に大きく寄与できると思う。

○矢田部委員

- ・重信川は本川にダムがなく管理が難しい川である。破堤すると四国では最大級の被害が出るということで、平成29年の豪雨災害を教訓として、念入りな調査・計測・観測を用いて、次の世代に治水面においてしっかりした川として渡していただきたいと思う。

○鈴木議長

- ・今回の重信川河川改修事業については、事務局の原案通り今後もこの事業を継続していくということでよろしいですか。

○一同

- ・異議なし

○鈴木議長

- ・重信川河川改修事業については、再評価の結果、今後も継続して事業を実施することの必要性が確認された。

以上